

2024年度公益社団法人藤沢市観光協会事業計画〔公益事業〕

1. 観光宣伝誘客・情報提供事業

〔事業費 138,490,000円〕

(1) 観光パンフレットの作成

ア. 観光総合パンフレットの作成

観光総合パンフレットは、旅行情報誌の高いブランド力を活かして3年に一度作成業者の見直しを行い作成している。今年度は業者選定を行い、観光客目線で本市の魅力を掲載し、ピックアップ率や保有率を高め、誘客促進に繋がる観光冊子パンフレットを作成する。配架先は、首都圏の高速道路パーキングエリア、電鉄主要駅、宿泊施設や市内観光案内所等とし、県内外からの集客に努める。また、電子書籍版をスマートフォン等から閲覧できるようにするなどデジタル化を推進する。

発行部数 95,000部(24ページ)

発行時期 2024年9月予定

イ. 江の島イラストマップの作成

本市の観光の中心である江の島エリアのイラストマップを改訂し、トイレ、AED、Wi-Fiの設置場所をはじめ、富士山ビューポイントや写真撮影ポイントの表記等アイコンを使ってわかりやすく表示することで、観光客がより快適に回遊できるように提供する。

発行部数 230,000部

発行時期 2024年6月

ウ. 外国語版観光マップの作成

インバウンド需要の回復に伴い、外国人観光客にとってさらに見やすいデザインにリニューアルし作成する。近隣の観光施設等への配架や海外旅行博等にて提供し、本市への誘客を促進する。

発行部数 英語：20,000部

繁体字：20,000部

簡体字：15,000部

韓国語：15,000部

フランス語：5,000部

スペイン語：5,000部(新規)

発行時期：2024年6月予定(英語・繁体字)以降他言語も順次発行

(2) 国内宣伝活動

ア. 観光プロモーション事業

本市への誘客効果を高めるため、動態調査等の結果に基づいた北関東エリアにおいてプロモーション活動を実施する。

また、本市プロモーション動画による YouTube 広告などのデジタルメディアを活用したプロモーションを実施する。

さらに、江の島及び片瀬海岸の回遊性を高めるため地元観光事業者とのコラボ事業や 2023 年度に実施した若年層への調査・分析結果に基づくプロモーションを実施してさらなる誘客に努める。

新聞・雑誌及びラジオ等のマスメディアを活用して、藤沢市の観光情報やイベント情報を発信し観光客の誘客を図る。地元のコミュニティ FM レディオ湘南で 5 分間番組「湘南・藤沢観光だより」を放送し、藤沢市民及び近隣市民等に観光情報を提供する。

時 期 年間
場 所 関東圏内

イ. 松本市との交流事業

姉妹都市である藤沢市と長野県松本市は、両市民による交流事業「海と山との市民交歓会事業」を長年行ってきており、さらに圏央道開通により両市へのアクセスが飛躍的に向上したことも踏まえ、松本市で開催される「市民祭松本まつり」にブースを出展し PR を行うほか、地元新聞社などのメディアを訪問し観光客誘致を図る。

時 期 2024 年 11 月
場 所 長野県松本市

ウ. 近隣関係機関との宣伝活動

神奈川県観光協会及び県内各市町村観光協会と合同での県外キャンペーン事業に協力し、本市の最新観光情報を提供する。また、本市及び鎌倉市への広域的な観光客誘致のために、江ノ島電鉄・鎌倉市観光協会及び両市等で組織している鎌倉藤沢観光協議会メンバーの一員として国内外からのさらなる誘客を図る。

さらに、首都圏からの観光客を誘致するため、小田急電鉄や JR 東日本等と連携して観光宣伝に努めるほか、市内宿泊施設等で構成される「藤沢・鎌倉・湘南十日会連絡会議」に参画し、情報交換等に努める。

(3) 海外誘客宣伝活動

ア. 多言語ウェブサイト等による情報発信

8 言語（英語・繁体字・簡体字・韓国語・フランス語・スペイン語・タイ語・ベトナム語）の多言語観光公式ウェブサイト「Discover FUJISAWA」では、訪日客にとって普遍的で正確な情報を掲載するとともに魅力的な特集ページを作成し拡充を図る。

多言語メニューサイト「FUJISAWA Foodies」については新規登録店舗の促進及び掲載情報の更新を行い利便性の向上に努める。店舗増加にあたっては、本協会と観光連携等協力協定を締結した多摩大学と共同した取り組みを行う。

また、ウェブサイトの認知度やアクセス数アップのため SNS を活用し、細やかな情報発信を行う。

<https://www.discover-fujisawa.jp>（多言語観光ウェブサイト「Discover FUJISAWA」）

<https://www.facebook.com/discoverfujisawa>（多言語観光ウェブサイト上 Facebook）

https://twitter.com/discover_fuji (多言語観光ウェブサイト上 X【旧 Twitter】)
<https://www.instagram.com/discoverfujisawa> (多言語観光ウェブサイト上 Instagram)
<https://www.youtube.com/channel/UCdTU-jgBmHnQckf5P8bHbBg>
(多言語観光ウェブサイト上 Youtube)
<https://www.fujisawa-foodies.jp/> (多言語メニューサイト「FUJISAWA Foodies」)

イ. マーケティング事業及びSNS情報発信

プロモーション活動のターゲット国については、台湾、タイ、インドネシア、ベトナム、欧米とする。

第一ターゲット国である台湾については、5月に高雄市で開催される2024高雄市旅行公会国際旅展(KTF)に出展するとともに現地で商談会を実施し本市への誘客活動を行うほか、SNSやWEB記事掲載によるプロモーションを実施する。

タイ・インドネシアについては、2023年度に取得した定量・定性調査結果を参考とし、現地情報サイトへの記事掲載や広告出稿を行い、認知度向上に努める。

ベトナムについては、在日ベトナム人向けメディア等を利用し、在日コミュニティに対するプロモーションを行う。

欧米については、訪日観光メディアを活用した米国人観光客等へのプロモーションを継続して行う。

また、本市を訪れる外国人観光客の動態データを取得、分析し、今後のプロモーションに活用する。

ウ. 観光案内所等での外国人旅行者へのおもてなし

藤沢市観光センター及び片瀬江の島観光案内所に主に英語で対応できる職員を配置するほか、江の島観光案内所に外国語観光ボランティアガイドを配置しホスピタリティの充実を図る。さらに、翻訳アプリの活用、多言語観光パンフレットの配架、多言語DVD映像などを活用するほか、観光スポットの説明が閲覧できる二次元コードを観光施設や史跡に追加するなど外国人観光客に対する環境整備や利便性の向上を推進する。また、外国語観光ボランティアガイド並びに観光案内所従事者を対象とした研修会を実施し、観光ガイドに関する知識の習得及びホスピタリティの向上に努める。

(4) ふじさわ観光親善大使

本市の観光資源の魅力を広く紹介しイメージ向上を図るため、2012年度からふじさわ観光親善大使として藤沢市在住のタレントつるの剛士氏に委嘱している。2024年度もふじさわ観光親善大使としてSNS等による藤沢エリアの最新情報の発信など、積極的に観光地藤沢・江の島の魅力をPRしていただく。

さらに、遊行寺で行う将棋イベント、湘南の宝石での点灯式&スペシャルライブ、湘南江の島春まつり「流鏝馬・武者行列」等へご参加いただき、各事業に華を添えていただく。

(5) フィルムコミッション事業

藤沢市内で行われる映画・テレビ等のロケ撮影を円滑に進め、観光振興及び地域振興

に寄与するフィルムコミッション事業では、各種の許認可手続き補助、撮影隊の飲食・宿泊施設の紹介、市民エキストラ手配等の業務を行い、制作会社との信頼関係を構築する。また、FCフォーラムの開催、映画・ドラマ・アニメなどの地元舞台作品を用いた様々な宣伝展開を配給会社と連携を取りながら企画し、幅広い層の観光客増加及びシテイセールスによる地域経済の活性化を図る。

さらに、支援作品のうち公開予定の劇場映画及びテレビアニメ作品の公開に合わせ、作品別ロケ地マップの作成やロケ地めぐりイベントなど作品とのタイアップ企画を積極的に行う。加えて2024年度については、これまでに市内で撮影の行われた過去作品をまとめた総合ロケ地マップの作成を行い、「ロケ地」を観光資源として活用し周遊性の高い誘客事業を推進する。

(6) ホームページ等による情報提供

藤沢市観光公式サイト及び藤沢市観光協会公式サイトの運用を行い、掲出情報の管理及び新規情報の充実を図る。併せてFacebook や Instagram 等のSNSを活用した情報発信を行う。

<https://www.fta-shonan.jp> (藤沢市観光協会公式サイト)

<https://www.facebook.com/fujisawa.kanko> (藤沢市観光協会公式Facebook)

https://www.instagram.com/fujisawa_scene (藤沢市観光協会公式Instagram)

<https://www.fujisawa-kanko.jp> (藤沢市観光公式サイト)

<https://www.facebook.com/visitfujisawa> (藤沢市観光公式Facebook)

https://www.instagram.com/visit_fujisawa/ (藤沢市観光公式Instagram)

(7) 「ふじさわ観光通信」の発行

本協会の会報誌「ふじさわ観光通信」を作成し、会員のみならず、観光案内所や市民センター、市内及び近隣市の鉄道各駅等多くの公共の場所にて配布し、観光情報や本協会の活動内容を紹介する。また本協会公式ホームページにおいても公開し、配架先以外での観光情報の周知を図る。

発行時期 年間4回(季刊発行)

発行部数 各5,000部

(8) 観光案内所業務

ア. 藤沢市観光センターでの案内業務

観光センターの案内窓口を担当職員を配置し、日本人観光客及び外国人観光客に観光情報を提供するとともに、本市を訪れる観光客への観光情報の発信地としての機能充実を図る。2015年1月に日本政府観光局(JNTO)から外国人観光案内所としてカテゴリ2の認定を受けた本案内所は、2023年度にも更新が認定され、引き続きグローバルな観光案内所としてサービス向上を図る。

時 期 年間

場 所 藤沢市片瀬海岸二丁目20番13号

イ. 藤沢市片瀬江の島観光案内所での案内業務

江の島及び片瀬海岸付近を来遊する観光客の利便を図るため、担当職員を配置し宿泊・交通・施設等の観光情報を提供する。観光センターと同様に、2023年度にカテゴリー2の更新が認定され、引き続きグローバルな観光案内所としてサービス向上を図る。

時 期 年間
場 所 藤沢市片瀬海岸一丁目14番8号

2. 観光行事開催事業

〔事業費 109,180,000円〕

(1) 女流棋士戦「第17期マイナビ女子オープン第3局」in 藤沢

2023年度に引き続き、将棋の女流棋戦を誘致し、時宗総本山遊行寺において「マイナビ女子オープン」を開催する。

併せて、つるの剛士氏やプロ棋士による対局や大盤解説、指導対局ブースや飲食ブースの設置など将棋ファンだけでなく幅広い客層が楽しめるイベントとし、地域の賑わいを創出する。

時 期 2024年5月12日（日）
場 所 遊行寺・藤嶺学園

(2) 湘南江の島海の女王&海の王子コンテスト

藤沢市の観光の魅力を爽やかに、元気よく、全国に伝える海の女王と海の王子をオーディション形式で最大3名選出する。選出された湘南江の島海の女王と海の王子は、7月の江の島マイアミビーチショー「海開き」にてお披露目する。また、任用期間は入賞日から1年間とし、本市の観光PRに努める。

時 期 2024年5月19日（日）＜最終審査＞
場 所 Fプレイス（藤沢市藤沢公民館・労働会館等複合施設）

(3) 江の島マイアミビーチショー

7月の海開きを皮切りに東浜海水浴場と西浜海水浴場では家族で楽しめる海浜イベントを開催し、海水浴客の誘客を図る。また、イベントポスター・横断幕の掲出やデジタルメディアを活用した効果的な告知を行い、本市海水浴場への誘客に努める。

時 期 2024年6月から8月
場 所 片瀬海岸東浜、片瀬海岸西浜、鵜沼海岸、辻堂海岸
主な事業 海開き（片瀬海岸東浜）
マイアミビーチショー夏花火
アニメーションCM等のデジタルコンテンツを使用した広告宣伝 ほか
実施主体 江の島マイアミビーチショー実行委員会

(4) 藤沢宝探し「フジサワトレジャー」

秋から冬にかけての観光活性化および、対象地域への来訪と回遊性を高めることで消費観光につなげることを目的として、幅広い世代が楽しめる謎解きイベント「フジサワトレジャー」を開催する。

舞台となるエリアの店舗を利用すると割引や特典が受けられるなど、対象地域店舗に参画いただくことで、消費観光を促進し地域経済活性化に繋がる事業展開を目指す。

時 期 2024年10月から12月の内、約2か月間
場 所 調整中

(5) ふじさわ江の島花火大会

一昨年、昨年度の開催状況を踏まえ、より効果的な開催方法を検討し、開催する。

時 期 2024年10月中旬 <調整中>
場 所 片瀬海岸西浜
実施主体 ふじさわ江の島花火大会実行委員会

(6) 龍の口竹灯籠

龍口寺境内に約3,000基の灯を灯した竹灯籠を並べ、揺らめく光が醸し出す幻想的な夜を演出し誘客を図る。地元商店会や関係団体等と連携して会場となる龍口寺周辺にオリジナルデザインの灯籠を設置する。

また、江の島島内で実施されるナイトコンテンツと同時開催することにより片瀬エリアから江の島エリアの回遊性を高め、地域活性化に努める。

時 期 2024年10月25日(金)から27日(日)のうち2日間
※日程は実行委員会で調整
場 所 龍口寺境内及び周辺
実施主体 龍の口竹灯籠実行委員会

(7) (公社) 全国公立文化施設協会主催松竹大歌舞伎藤沢公演

2023年度に引き続き日本の古典芸能である歌舞伎を開催し、文化芸術が生み出す地域文化の振興と地域経済に資する施策とを連携し地域活力の更なる向上に努める。

時 期 2024年10月31日(木) 2回公演
場 所 藤沢市民会館
実施主体 公文協大歌舞伎藤沢公演実行委員会

(8) 新春藤沢江の島歴史散歩

新春に藤沢七福神を祀る社寺をポイントとし、藤沢市中部及び南部地域の歴史・文化・自然など、藤沢の多彩な魅力を再発見するスタンプラリーを実施し、観光客の市内の周

遊性を高める。

また、スマートフォンを用いたデジタル七福神めぐりを行い、SNSを利用しPRを行う等幅広い年齢層の参加を促進する。

時 期 2025年1月7日(火)から1月31日(金)
場 所 藤沢市内9社寺

(9) 江の島宝探し「エノシマトレジャー」

藤沢・江の島に残る歴史や伝説をモチーフにしたゲーム感覚の宝探しストーリーを制作し、参加者は宝の地図やヒントなどを参考に回遊しながら、最後のキーワードを求めゴールを目指す。地域経済の活性化に繋げる取り組みとして対象エリアの参加店舗で一定金額の利用をするとノベルティが貰える企画を実施する。さらに公式ホームページに発見者登録をすることにより、ご当地グッズや抽選で賞品が当たるなど、子供から大人までファミリーで楽しめる企画とする。

時 期 2025年2月6日(木)から4月6日(日)〈予定〉
場 所 江の島・片瀬エリア

(10) 湘南江の島春まつり

春の本格的な観光シーズンの幕開けとして、流鏝馬・武者行列、稚児行列・貝供養神事をはじめ、様々なイベントを実施することで幅広い集客を図る。

時 期 2025年3月8日(土)・9日(日)〈予定〉
場 所 江の島及び片瀬海岸
主な事業 流鏝馬・武者行列、貝供養神事・稚児による稚貝の放流
歴史ガイドツアー ほか
実施主体 湘南江の島春まつり実行委員会

(11) 湘南藤沢活性化コンソーシアム

春季の「江の島国際芸術祭」、夏季の「江の島灯籠」、秋季の「湘南キャンドル」及び冬季の「湘南の宝石」の観光振興事業や、エリアにおける円滑で多様な人流創出と滞在や分散を生み出す企画の実現、地域の歴史文化と海洋資源、景観、ライフスタイルを活用した地域ブランディング及びPRコミュニケーションを展開するため、本協会も湘南藤沢活性化コンソーシアムの事務局の一員として積極的に活動を行う。

時 期 年間
場 所 藤沢市内
実施主体 湘南藤沢活性化コンソーシアム

(12) 地域の祭り、行事への協力支援

「藤沢市民まつり」、「藤沢宿遊行の盆」、「遊行寺薪能」等の地域の祭りや行事が地域活性化のための恒例の催しとなるよう積極的に協力支援する。また、北部地域では地域

住民が主体となり開催している「遠藤あじさいまつり」、「小出川彼岸花まつり」等にも協力支援を行い、市内観光の周遊性を高める。

時 期 年間
場 所 藤沢市内

3. 観光資源保護・調査研究事業

[事業費 16,180,000円]

(1) 観光客実態調査

ア. Suicaデータによる電車利用者の動向調査

東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）が持つSuicaに関するデータを活用した情報分析を行い、藤沢市内の駅でのSuicaを利用した来訪者の動向・情報を調査し、観光に関する基礎データとして利用する。

時 期 年間
場 所 藤沢市内 ほか

イ. 外国人観光客実態調査

2015年度から江の島を来訪された外国人観光客を対象として対面式でヒアリングアンケート調査を実施し、コロナ禍の2020年度からはオンライン方式に変更し実施してきた。2024年度は、対面でのアンケートを実施し外国人観光客の生の声を聞き取り今後の誘客施策に役立てる。

時 期 調整中

ウ. 観光客動態調査

2023年度に引き続き、江の島等を訪れる観光客の属性、年代性別状況などを携帯電話端末の位置情報を利用しデータを収集し、これらのデータ分析を行うことによりイベントの効果測定並びに今後のプロモーション施策等に役立てる。

期 間 2024年1月1日から2024年12月31日（1年間）
対 象 江の島

(2) 観光地づくりの研究

ア. 関係機関と連携した観光地づくりの研究

藤沢商工会議所や湘南産業振興財団等と連携し、市内の名産品・特産品の販売促進や新たな名産品の研究を進め、今後の観光地のあり方などを検討する。また、神奈川県や関係機関・関係団体等と連携しながら内外の観光地の調査研究を進める。

さらに、市内観光事業者相互間の情報交流を図るため情報交換会を実施する。

時 期 年間
場 所 藤沢市内 ほか

イ. トンボロを活用した観光地づくり（新規）

江の島という観光地の新たなイメージ作りのため、トンボロの発生時期に新江ノ島水族館の「なぎさの体験学習館」が実施するプログラムに合わせて、北緑地広場に仮設階段を設置し、江の島へのアクセスルートを体験してもらう。

なお、トンボロの発生時期は観光公式ホームページに掲載している。

時 期 2024年4月から7月
場 所 江の島北緑地広場

ウ. 北部観光ツアー

藤沢北部の緑、特に農業を実体験するプログラムを通し、海だけではない本市の魅力を感じてもらおうモニターツアーを実施する。

時 期 調整中
場 所 藤沢市北部

エ. 江の島大道芸パフォーマンス

江の島を訪れる観光客に楽しんでいただくため江の島サムエル・コッキング苑前広場等で大道芸パフォーマンスを実施している。引き続き江の島パフォーマーライセンスを所持している45組の大道芸人の出演スケジュール管理等を行う。

時 期 年間
場 所 江の島サムエル・コッキング苑前広場 ほか

オ. 記念誌の編集作業（新規）

2025年度、本協会が法人化30周年を迎えるにあたり、2024年度中に記念誌の立案、協会史の編纂、編集並びに制作を進め周年の2025年度初めに会員及び関係団体等、各所へ配付し本協会の歩みを市内外へ発信する。

(3) 観光事業研修会

観光関係事業経営者及び従業員を対象としたおもてなし講座や先進観光地域を訪問しながら学ぶ研修会を開催し、観光サービスの質の向上を図る。2024年度は、日帰りの行程又は市内で講師による講習会形式を予定している。

(4) 観光ボランティアガイド「江の島・藤沢ガイドクラブ」との連携

本協会と協力関係にある「江の島・藤沢ガイドクラブ」により、市内全域の特徴ある自然、歴史、文化等の魅力を観光客に一味違った角度から案内を行い、本市観光の周遊性を図り、新たな観光客の確保を推進する。

時 期 年間
場 所 藤沢市内 ほか

(5) 観光地美化活動の推進

地域美化団体と連携し、観光客に対して観光地美化の啓発活動を行うとともに地域美化活動にも参画する。地域の環境美化団体等が自主的に実施するクリーンキャンペーン等に対して助成を行う。また「湘南海岸をきれいにする会」の構成員として、湘南地域全体の総合的な海岸美化にも取り組む。

時 期 年間
場 所 藤沢市内

4. 観光施設運営管理受託事業

〔事業費 115,750,000円〕

(1) 江の島岩屋の運営管理

藤沢市から2023年度から3年間、「江の島岩屋」の指定管理を受託している。2024年度も藤沢市江の島岩屋条例及び同条例施行規則に基づき管理運営を行うとともに、来場者の安全及びサービス向上に努めた企画により入場者の増加を図る。

さらに、地域自治体や事業者と連携し、江の島最奥部周辺地域と江の島全体への誘客を図る。また一部洞内にWi-Fiが整備されたことから、より多くのお客様に岩屋の魅力を発信できるよう計画している。

時 期 年間
場 所 藤沢市江の島二丁目202番地58

(2) 江の島花の名所等の運営管理

本市観光の中心である江の島の観光振興をさらに充実させるため、藤沢市より委託を受けて、江の島島内の中津宮広場に花を中心とした植栽や清掃等の運営管理を行い、四季を通じて観光客をもてなす花の名所とする。

時 期 年間
場 所 江の島 中津宮広場 ほか

(3) 江の島龍野ヶ岡自然の森の維持管理

藤沢市から「江の島龍野ヶ岡自然の森」の維持管理業務を受託し、花の植栽、樹木の手入れや清掃作業等を行い、江の島島内の自然を楽しみながら周遊するエリアとして管理する。

また、当該施設内に本協会が1996年に設置した社団法人設立記念のモニュメント「龍恋の鐘」を観光資源として維持管理する。

場 所 江の島 龍野ヶ岡自然の森
時 期 年間

(4) ふじさわ宿交流館の運営管理

藤沢市から2024年度から5年間、「ふじさわ宿交流館」の指定管理を受託し、旧藤沢宿の歴史、文化等と触れ合う場を提供するとともに、地域の人や当地を訪れる人の交流の推進を図ることにより、地域の活性化と賑わいづくりに努める。

毎月恒例のイベントとして宿場寄席や爆笑ライブ、季節により七福神の浮世絵展示など地域に密着した催しや、藤沢宿周辺の寺社、商店街及び地域団体等との連携による多彩なイベントを実施することにより、市内外の観光客の誘致を図る。

また、積極的な小学校社会見学受入れ等により、次世代への文化の継承を推進するとともに、来館記念としてのオリジナルグッズの進呈等により新たなリピーターの確保を目指す。

さらに、本協会と協力関係にある「江の島・藤沢ガイドクラブ」により、藤沢宿から伸びる脇街道を中心とした市内全域の特徴ある自然、歴史、文化等の魅力について観光客に多角的な視点から案内を行い、藤沢宿のみならず、本市観光の周遊性を図り、新たな観光客の確保を推進する。

時 期 年間
場 所 藤沢市西富一丁目3番3号

2024年度公益社団法人藤沢市観光協会事業計画〔収益事業〕

1. 江の島駐車場管理運営

〔事業費 32,040,000円〕

乗用車で訪れる観光客の利便と本協会の自主財源を確保するため、藤沢市から土地を賃借し、駐車場の管理運営を行う。

また一部スペースを予約制（市内小中学校等の減免対応等）の大型バス駐車場としても対応し、利用車両がスムーズに駐車できる管理運営を推進する。

時 期 年間

場 所 藤沢市江の島一丁目214番5の内

収容台数 普通車36～75台（大型バス最大10台）

2. 片瀬東浜駐車場管理業務

〔事業費 18,041,000円〕

藤沢市から「藤沢市片瀬東浜駐車場」の指定管理を2020年度からの5年間受託している。藤沢市片瀬東浜駐車場条例及び同条例施行規則に基づき管理運営を行うとともに、片瀬海岸周辺を訪れる乗用車利用客の利便を図り、利用者のサービス向上に努め、フィルムコミッションや地域におけるイベントなどでの活用も図る。

時 期 年間

場 所 藤沢市片瀬海岸一丁目11番12の内

収容台数 普通車45台

3. オリジナル物品販売事業

〔事業費 1,260,000円〕

本協会オリジナルで製作した江の島浮世絵はがき、江の島浮世絵ポスターセット、オリジナルTシャツや宿場印帳等の販売を行う。更に、フィルムコミッション事業等との連携を図り、新たなオリジナルグッズの開発を行う。

時 期 年間

場 所 観光センター、ふじさわ宿交流館

SDGsの取り組み

- ・公益社団法人藤沢市観光協会SDGs宣言
<https://www.fta-shonan.jp/sdgs/index-sdgs.html>（本協会HP）
- ・2022年10月 1日 ふじさわSDGs共創パートナー登録（承認済）
- ・2022年12月22日 かながわSDGsパートナー登録（承認済）